



優秀賞

(居室部門)

タイトル 視覚効果による若返りをリフォームに活かす

タイプ 持家一戸建

講評

北海道に多く見られる三角屋根住宅の増改築。LDK部分に広がりを持たせつつも各エリアを明確に分け、壮年の施主夫妻にとって使いやすいものに仕立てている。積極的に使われている強い色には若々しさを感じられる。

リフォーム前後の写真

リフォーム前



リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など

《動機》
北海道の寒くて暗い築28年の住宅を性能・デザイン共に甦らせたい。

年後にも備え視覚神経への適度な刺激に。色を生活の中で的確に取り入れることで10歳は若返ることが可能と考える。このような物件にこそ色・視覚というデザインの重要性をうたえていきたい。

《設計施工の工夫点》

家具、クッション等にまで色の扱いに設計として配慮した。カーテンは彩度の高い色なのでレースを手前に配し視覚的にやわらかくした。断熱工事ともあいまって、冬の寒さは視覚的にも体感的にも解消。今回の色使いは50代のご夫婦にとって20

《施主の感想》
暮らしが楽しくなり、気分も若返りました。

特に配慮した住宅性能など：耐震補強 省エネルギー バリアフリー 住む人の健康 その他（ 自然環境 ）

データ

所在地	北海道恵庭市	構造 / 築後年数	在来木 造 / 28 年
該当工事面積	24.975 m ²	該当部分工事費	295 万円
居住者構成	3 人 (大人 15歳以上)	3 人 子供	人) ペット 猫1匹
設計者	(株)ホームトピア	担当者	川瀬 かおり
施工者	同上	担当者	木村 英雄

リフォーム前

リフォーム後

